



①全日本柔道連盟の皆さんと(東海大学・リサイクル柔道衣活動) ②UAE柔道連盟にて(UAE・アブダビ) ③デジュー・オタンス選手(ブラジル・リオデジャネイロ)
④リサイクル柔道衣到着(カンボジア・シェムリアップ) ⑤アナトリー・ラフリン杯(ロシア・サンクトペテルブルグ) ⑥1st Kenji Mitsumoto Cup(グアム・ババカダ)

国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

Promoting mutual prosperity through the international spread of judo.

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟(IJF)には、201の国と地域が加盟しています(2016年度現在)。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

Passing on the spirit of Japanese judo by enabling cultural exchange with various countries.

現在の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

Finding the best way to help children develop is what is important now.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日、神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人(神奈川県認定)
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第20号

2016年9月1日発行 Published 1st of September 2016

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address: 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email: judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 20

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

主な活動 (2016年1月～2016年6月)

- Major Activities -

月 日	事 業 内 容
2016年1月	カンボジア・シェムリアップにリサイクル柔道衣50着が到着
2016年2月	全柔連へ寄付したリサイクル量100枚がコスタリカ・サンホセに到着
2016年3月4日～16日	光本国際担当師範・原口国際インストラクターをグアム・パリカダに派遣
2016年3月5日	「第1回光本健次カップ (Kenji Mitsumoto Cup)」を支援
2016年3月28日～4月4日	光本師範・原口インストラクター・学生ボランティアをUAE・アブダビに派遣
2016年5月	全柔連へ寄付したリサイクル柔道衣20着がインドネシア・ジャカルタに到着
2016年5月26日～6月1日	浅井ロシア交流担当をロシア・サンクトペテルブルグに派遣
2016年6月	全柔連へ寄付したリサイクル柔道衣100着がシエラレオネ・フリータウンに到着
2016年6月	「柔道きほん運動」DVD増刷及び教則本(英語版)発行
2016年6月13日～7月15日	セネガル女子柔道選手1名を受入れ(東海大学他)
2016年6月17日	2016年度第1回理事会・2016年第10回通常総会を開催(東京・港区)
2016年6月29日～7月23日	パレスチナ男子柔道選手1名を受入れ(東海大学他)

1. 第9回東アジア柔道選手権大会「柔の形」に出場した王華さんと胡李宇さん、銀メダルを獲得
2. 第1回光本健次カップのポスター



理事会・総会

2016年第10回通常総会

2016年6月17日、東京都港区の国際文化会館にて2016年第10回通常総会を開催しました。



理事9名、監事2名が参加した理事会



188名(委任状156名)が参加した総会

June 17th 2016. The 10th Annual General Meeting 2016 at Tokyo Minato International Cultural Centre.

2016年6月17日(金)、東京都港区六本木の国際文化会館、岩崎小彌太記念ホールにて2016年第10回通常総会を開催しました(通常総会の回数について、2015年まで誤って数えておりました。2016年より回数を訂正しましたので、2016年第10回通常総会とさせていただきます)。

同日、総会前に2016年度第1回理事会を開催しました。理事会では、2015年度の活動を報告し、総会の開始直前まで2016年度の活動計画などを話し合いました。

総会では、初めに山下理事長が、開催まで50日を切ったリオデジャネイロオリンピックに向けて多方面で改革に取り組んでいることを話しました。「日本オリンピック委員会の役員として、初めて選手村に滞在する。その中で、柔道だけでなく他競技とも連携をし2020年につながるように活動していきたい。国民の皆さまに、夢や感動を与えられるようにしたい。全柔連として国際交流が始まり1年が経つ中で、本法人で行ってきた国際貢献活動を全柔連に移していている部分がある。全柔連として出来ること。本法人として出来ることを行っていきたい」と話しました。

その後、2015年度事業報告、2016年度事業計画について、光本事務局長より報告。金子正志監事より、監査報告をしていただきました。第1号議案「2015年度事業報告及び収支計算について」、第2号議案「2016年度事業計画及び活動予算について」とともに満場一致で総会承認をいただきました。

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

世界へ広がるリサイクル柔道衣・畳支援

より多くの国へ送るため、皆さまから寄付していただいた柔道用具を全日本柔道連盟へ無償提供をしております（2016年度より開始）。本法人では、今まで通り、国内での柔道用具の受け入れ、管理、国内輸送、発送などの活動を継続していきます。全日本柔道連盟は、官公庁への大規模な供与を中心として行っていますが、本法人では、青年海外協力隊、本法人元研修生などが活躍する道場、各国のNGOやNPOの道場を中心に、NPO法人だからこそ協力することの出来る地域への送付を行っていきます。



カンボジア

Cambodia

2015年11月に送付したリサイクル柔道衣50着が、2016年1月カンボジアのシェムリアップの国際日本文化学園に到着しました。日本文化学園では、柔道だけでなく日本語教室など日本文化を広める活動をしています。



アンコール道場に届いた柔道衣



文化学園でパフォーマンスを披露

国際日本文化学園 チャンソピー

はじめまして。私はチャンソピーと申します。26歳です。アンコール柔道場のコーチをしています。2007年から2013年まで日本人の先生に柔道を教えていただきました。先生の帰国後は、フランス人やロシア人、韓国人の先生に習っています。

去年からアンコール柔道場で柔道を教え始めました。けれど、柔道衣がなく、投げ技をすることが出来ませんでした。今回、日本の柔道の先生方が柔道衣を下さり、投げ技と寝技が出来るようになりました。とても嬉しいです。

日本語学校は、柔道をしながらいる学生がたくさんいますが、プロのコーチがいません。プロのコーチに来ていただきたいです。どうぞ、よろしくおねがいします。

国際日本文化学園 チエネツ

初めまして、私は日本語を6年間習っているチエネツです。8年間日本人に柔道を習っていた後輩に、月、火曜日に教えてもらっています。とても楽しくて、他の日にも一緒に練習している仲間と寝技や組み手の練習をしたりしています。私達の学校は、柔道衣も畳もなく、普通のシャツで空手の薄いマットの上で練習をしています。痛いし、道衣もないので、中々うまく投げることが出来ませんでした。皆さんからの柔道衣が届いて、とても嬉しいです。

首都プノンペンで柔道の試合があると聞きました。練習を頑張り、試合に出てみたいと思っています。強くなるためには、毎日の練習を欠かさずにするしかないと思います。いつか、日本人の指導者に指導していただきたいです。この度は、たくさんの柔道衣を本当にありがとうございました。

国際日本文化学園 ポロリ

はじめまして、私の名前はポロリです。今年16歳です。空手道も柔道もやっています。試合は、1回だけ出たことがあります。シェムリアップには柔道クラブが3つあります。私は優勝しました。

柔道衣をいただきました。皆さんどうもありがとうございました。道衣はすべて綺麗でした。私は、皆さんに会いたいです。



タンザニア

Tanzania

2013年に、タンザニアのザンジバルに送ったリサイクル柔道衣200着、畳91枚が現地の道場で活用されています。コーチングセミナー2014に参加した、モハメド氏もザンジバル柔道連盟の副会長として活躍しています。

ザンジバル柔道連盟名誉会長 島岡強

2013年に、貴柔道教育ソリダリティーから支援いただいたリサイクル柔道衣200着は、ザンジバルだけではなく、タンザニア本土、隣国のケニアの柔道クラブにも分けるなどし、大切に使っています。

畳は、一部を警察道場、他は新しく道場を開館したペンバ島（ザンジバル諸島の主要な島）ペンバ道場で使用し、現地の柔道発展に役立っています。

2016年5月29日、ザンジバル武道館にて、「タンザニア体重別柔道選手権大会2016」が開催されました。タンザニア本土から3チーム、ペンバ島からも16名が参加し、ザンジバル本島（ウングジャ島）も合わせ、活気ある国内大会となりました。

リサイクル柔道衣やリサイクル畳のご支援のおかげで、ペンバ島という柔道未開発の島にも柔道が普及し始めました。ザンジバル、タンザニアの柔道家たちからの感謝の声を伝えたいです。どうもありがとうございました。

貴法人のコーチングセミナー2014に参加させていただいた、モハメド氏は、柔道連盟の副会長兼ナショナルコーチとして、連盟の牽引と後進の指導に当たっております。2017年2月には、タンザニアで、第11回東アフリカ柔道選手権大会を行います。ナショナルチームの選考もはじめるころです。今後とも、ザンジバル、タンザニア、東アフリカ柔道発展のために尽力していく所存ですので、引き続きよろしくお願いします。



ペンバ道場へ畳を搬送



警察道場でも畳を使用

全日本柔道連盟の

《Judo for Tomorrow》活動をサポートしています！

本法人は、柔道衣や畳の受入、保管、発送作業など輸送に関する調整、必要書類作成などで協力しています。リサイクル畳は、東海大学柔道部、東海大学付属星高等学校柔道部、東京柔道整復専門学校の方々が寄付していただきました。ありがとうございます。



柔道衣

インドネシア(50着)・シエラレオネ(100着)

畳

コスタリカ(100枚)・キューバ(100枚)
タンザニア(157枚)・ホンジュラス(50枚)

外国への指導者派遣事業・柔道教室（国内外）

Kenji Mitsumoto Cup 初開催

2016年3月5日に開催された「The 1st Kenji Mitsumoto Cup」に合わせ、2016年3月4日～16日の期間、光本健次国際担当師範、原口直也国際担当インストラクターをグアムへ派遣しました。

Kenji Mitsumoto our director of international Exchange Program and Naoya Haraguchi our International Instructor visited Guam from March 4th to 16th to coincide with the 1st Kenji Mitsumoto Cup on March 5th.

光本健次国際担当師範は、1980年よりグアムで柔道交流を行っています。その光本師範の名前を冠した柔道大会「The 1st Kenji Mitsumoto Cup」が2016年3月5日にグアムで開催されました。柔道の普及や国際交流を目的にした光本カップは、本法人のコーチングセミナー2014で光本師範より指導を受けたマイケル・コーン氏が発案しました。光本師範と友好の深いグアム柔道連盟会長のリック・プラス氏（IOC役員）の協力を得て、初開催に至りました。

この大会に合わせ、光本師範、国際担当インストラクターの原口直也氏を派遣しました。光本師範は、開会式で「本法人のコーチングセミナーは、世界各国での柔道の普及・発展を目的としている。そのコーチングセミナーの研修生だったマイケル氏、私の旧友でもあるリック氏が大会を開催してくれたことを大変嬉しく思う。皆さんとこの大会を通して友情を

育むことができれば、これほど素晴らしいことはない」と挨拶しました。大会は、グアムやパラオの子どもたち約60名が参加し、年齢別の3グループに分かれて試合を行いました。入賞者には本法人からメダルと記念品を贈呈しました。

大会終了後に、光本師範と原口インストラクターによる柔道教室を実施しました。大人と子どものクラスに分けて、柔道が安全に楽しく行えるように、けが防止の指導、基本技などの指導を行いました。参加者からは、多くの質問が出て大変好評でした。グアム柔道連盟から柔道教室の延長要請を受け、原口インストラクターが1週間現地に残って柔道指導を行いました。

「The 2nd Kenji Mitsumoto Cup」は、2017年夏に開催する予定です。日中友好青島柔道館、濱名道場の子どもの参加を検討しています。



原口直也 国際担当インストラクターからの報告です

2016年3月4日～16日、グアムにて「1st Kenji Mitsumoto Cup」と柔道指導を行いました。大会のマネージメントはすべてグアム柔道協会の方々がを行い、大きなけが人も出ず素晴らしい大会でした。相手を敬う気持ち、謙虚な気持ちがとても感じられる大会でした。

グアム柔道協会の方々は「来年も再来年も続けていくつもりだ」と話され、光本先生との会話の中で次大会からは日本の学生や柔道クラブを参加させる案も出ていました。学生の参加は、学生自身も試合のマネージメントや国際交流が出来ますし、審判などで試合に関わることでグアム柔道にとっても良い刺激になるのではないかと思います。

今回のグアム視察では、試合の視察だけではなく柔道指導も行いました。光本先生より一日後にグアム入りした私は、練習に参加させていただいた時に、既に光本先生が皆の心をつかんでいることに驚きました。数日間の練習だけで生徒の心をつかむのは至難の業です。どのような練習をしたのかとても気になりました。指導初日、光本先生より指揮を任せていただいたのでウォーミングアップから私が行いました。翌日が試合のためハードな練習は入れませんでしたが、初日ということ、久しぶりの指導ということもあり緊張してあたふたしてしまう部分がありました。その時に光本先生が的確なアイデアを下され、なんとか初日の練習が終わりました。

光本先生の帰国前日の指導は、光本先生が全て指揮を執り私は補助を行いました。2時間の練習で熱心で真剣に取り組む時、笑いが起こる時、このようなめりはりがついている練習は見たことがありませんでした。光本先生の指導には無駄がなく、魅力があることを改めて知りました。初日に疑問に思っていたことが晴れたような気がしました。

当初光本先生と3月10日に帰国する予定でしたが、有難いことにグアム柔道協会の方々から私をもう1週間グアムに残し指導をお願いしたいと申し出がありました。私はその場で即答し、急遽飛行機の変更をしていただきました。

グアムでの2週間は、私にとって思い出に残る国際交流となりました。日本とグアム、そして東海大学とグアムの深い関わりを知ることが出来ました。数十年前、アメリカと日本はこのグアムで戦争し、膨大な戦死者と被害者を出しました。しかし今では、グアムに来る観光客で日本人が一番多いそうです。そして今回、松前重義先生が慰霊碑を建立した地で、先生が愛した柔道を通し、友情と平和を胸に国際交流が出来たことを幸せに思います。改めて海外との交流の楽しさや重要性を再確認することが出来ました。グアムで出会った方々やお世話をいただいた方々には大変感謝いたします。ありがとうございました。



グアム・マーシャルアーツセンターで指導を行う
原口インストラクター



松前重義先生が慰霊碑を建立した塚本清彦氏の慰霊碑を掃除

外国への指導者派遣事業・学生ボランティア派遣

UAEでコーチングセミナー・柔道教室を開催

2016年3月28日～4月4日の期間、アラブ首長国連邦(UAE)に光本健次国際担当師範、原口直也国際担当インストラクター、東海大学体育学部4年佐々木浩太郎君を派遣しました。UAEでは光本師範、原口氏が中心となり1週間にわたってコーチングセミナーを開催しました。光本師範・原口氏は、東海大学の派遣を支援しています。

Our international coaches Kenji Mitsumoto and Naoya Haraguchi along with 4th year physical education department student Kotaro Sasaki visited to the United Arab Emirates from March 28th to April 4th 2016.

光本健次 国際担当師範からの報告です



UAE・アブダビの第2回コーチングセミナー



左から原口インストラクター、光本師範、学生ボランティアの佐々木さん



コーチングセミナー2015の研修生モウ氏と再会



現地の新聞数社に大きく取り上げられました

2014年2月、アラブ首長国連邦アブダビ皇太子が東海大学に来日。山下泰裕理事長に柔道を通じたUAEでの青少年教育及び規律教育のための支援要請があった。アラブの柔道普及・発展には良い指導者の育成が急務だと判断し、10月にアラブ国際柔術大会に合わせ、第1回コーチングセミナーを開催した。

UAEでは教育現場、軍隊、警察などに柔術が導入され、ここ数年で大幅に柔術人口が増えている。教育現場では、400校近く柔術のクラスがあると聞いた。2018年にはアジア大会で柔術が正式種目になる。柔術関係者は、柔術が柔道に代わりオリンピック種目になるのは時間の問題だと言っていた。一柔道家としては、大きな危機感を覚えた。

2016年3月28日～4月4日までの期間、UAEのアブダビにおいて第2回コーチングセミナーと柔道教室を開催した。今回のコーチングセミナーは、正しい柔道指導ができる指導者育成、柔道が持つ教育的価値と日本文化としての柔道の普及を目指した。

コーチングセミナーは2日間と短い日程ではあったが、20名ほどの指導者が参加した。子供たちの柔道教室も2日間開催し、7つの首長国から約70名の子供たち及び指導者が集まった。コーチングセミナーと柔道教室の様子は現地スポーツ新聞にも大きく取り上げられた。

在アラブ首長国連邦日本国大使館を訪問する機会を得た。新任で来られた藤木完治大使、鈴木慎司職員などに暖かく迎えていただいた。アラブジュニア選手の強化策として大使館カップの実現など、今後の交流事業について様々なアドバイスを頂いた。

今回の派遣には、柔道教育ソリダリティー国際担当インストラクターの原口直也君と東海大学体育学部武道学科4年の佐々木浩太郎君をアシスタントとして帯同した。若い2人にとって大変貴重な経験が出来たと思っている。今後もアラブ首長国連邦との良い交流事業を続けていくために、本法人としても協力を継続していきたい。

学生ボランティア 佐々木浩太郎さんからの報告です

私は今回、柔道教育ソリダリティーの学生ボランティアとして光本先生に同行させていただきました。このような貴重な体験をさせていただき、柔道教育ソリダリティーの皆さまに感謝したいと思います。ありがとうございます。

光本先生はアシスタントの私にも、指導の機会を下さいました。それは、現地で柔道指導者をしておられる米田先生の柔道クラブの2時間弱の柔道教室でした。与えられた時間の中で、どのような指導ができるか、指導する前日から考えていました。私が任せられたクラスは13～17歳(カデ・ジュニア)の子どもたちから、仕事を終えて来る年配の男性もあり、年齢層に幅がありました。ジュニア用のトレーニングをするのは何か物足りない様子でしたので、ある程度寝技の補強運動をさせた後で、なぜこういう動きをするのか?という説明をし、乱取り稽古へと移るようにしました。

様々なトレーニングを指導する上で重要だと感じたのが、段階的なレベルに対応した指導の順序でした。例えば、立技で背負投の打ち込みを指導する時、「こうやるんだ」と実技で見せるだけでは子供たちの感覚に近づけていくことは出来ません。柔道の動きを段階的な幾つかの動きに分割し、それぞれをトレーニングすることで子供たちにも相手を投げる順序の大切さ、面白さを伝えられます。いかに楽しくトレーニングできるようにするか、それが指導者の腕とも言えるのではないかと思います。UAEで過ごした1週間、光本先生の様々なアイデアを駆使したトレーニング法を勉強することができ、将来指導者を目指す私にとって大変貴重な経験となりました。

現地の柔道事情については、UAEではブラジリアン柔術や、柔術、総合格闘技などが盛り上がっていることを実感しました。今回のコーチングセミナーでも、黒い柔術衣の参加者がいました。ホテルへ帰ってテレビをつけてみると柔術専用のテレビチャンネルがあり、大会スポンサーなどが非常に格好いい柔術の選手を使ったCMを使用していて、柔術の人気の高さが伺えました。実際にワールド・プロフェッショナル柔術カップの会長であるカルロス・サントス氏が、世界4大陸に柔術を普及発展させると発表したそうです。柔術の海外での普及発展は著しく、競技性が多く重なる柔道は危機感を持って普及発展を進めていくべきであると感じました。ただ、世界各国が格闘技を好む傾向にあるというのは、柔道の発展に希望を持って取り組みたくなるところでもあったと思います。

海外柔道普及支援事業

ラフリン記念ロシア全国少年柔道大会

2016年5月26日～6月1日の期間、浅井信幸ロシア交流担当をロシア・サンクトペテルブルグで開催された「第4回アナトリー・ラフリン記念ロシア全国少年柔道大会」に派遣しました。



アナトリー・ラフリン大会開会式



ロシアだけでなく、海外からも参加がありました

Nobuyuki Asai, in charge of Russian exchange visited Saint Petersburg, Russia from May 26th to June 1st 2016 for the 4th Anatoly Rakhlin Memorial Youth Judo Championship.

浅井信幸 ロシア交流担当からの報告です

2016年5月28日、本法人と長年活動を共にした故アナトリー・ラフリン先生を記念する大会「第4回アナトリー・ラフリン記念全国少年柔道大会」が、ロシア・サンクトペテルブルクで開催されました。「ラフリン記念柔道大会」は、ロシア各地から350人以上の参加者が集まりました。2018年サッカーワールドカップスタジアムに隣接する3500人収容可能な会場で行われ、大会審判長のラフリン先生のご子息エフゲーニ氏をはじめ審判も大会運営も国際大会を凌ぐレベルの高さでした。

開会式では、ラフリン先生の愛弟子、プーチン大統領、国際柔道連盟ビゼール会長からの祝電が披露され、私は山下理事長からのお祝いの言葉を述べました。

大会実行委員長でラフリン先生のご子息ミハイル氏の大会開会宣言の後、熱戦が繰り広げられました。勝っても負けても相手に敬意を示す子どもたちを目にし、ラフリン先生が目指してきたものがそこにあるように感じました。強さを求める柔道だけでなく、教育としての柔道を目指してきたラフリン先生の意思を2人のご子息が受け継ぎ、次の世代へと伝える大会でもあると言えるでしょう。

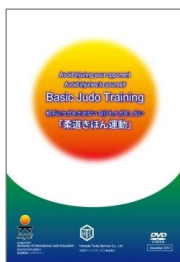
また、大会に合わせ、若者だけでなくラフリン先生をしのぶたくさんの名選手も集まりました。2016年11月にはミハイル氏がラフリン先生より受け継いだクラブの代表が来日し、東海大学で合宿をします。「柔道・友情・平和」を胸に、これからも彼らと柔道を通じ友情を育んでいきたいと思います。

教材制作事業

「柔道きほん運動」教則本を英訳、世界へ配布

2016年6月、『相手にケガをさせない自分もケガをしない～柔道きほん運動～』教則本を柔道発展途上国へ配布できるよう英訳しました。

An English translation of the booklet which accompanies 'Avoid injuries to your opponent, Avoid injuring yourself. Basic Judo techniques' was produced to send to countries where judo is developing.



2014年12月、全ての子どもたちが安全に柔道を始めることが出来るように、DVDを制作しました。そのDVD『相手にケガをさせない自分もケガをしない～柔道きほん運動』教則本を世界各国へ配布できるように英訳しました(英語: Avoid injuring your opponent Avoid injuries to yourself Basic Judo Training)。

DVDと教則本をセットにし、要請に応じ柔道発展途上国に無料配布します。DVDは、各国の放送方式に対応するよう、NTSC1500枚とPALを3500枚追加制作しました。

動画及び教則本は、本法人ホームページから無料で見ることが出来ます。

リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便で着払いでお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

公式Youtubeチャンネルのご案内

本法人の公式Youtubeチャンネルを制作しています。コーピングセミナーの報告動画、「ケガ防止」DVDの動画などを見ることが出来ます。是非、ご覧下さい。



柔道教育ソリダリティー



実施事業

2016年7月～

コーチングセミナー2016



2016年11月～12月、コーチングセミナー2016を開催します。研修生は、イスラエル、パレスチナ、パラオ、エルサルバドル、アルジェリアなどを含む9カ国を予定しています。

The 2016 Coaching seminar will be held from November to December 2016. Trainees are expected to attend from 9 countries including Israel, Palestine, Palau, China, El Salvador and Algeria.

リサイクル柔道衣・畳支援事業



外務省、全日本柔道連盟、SFTプログラム等と協力し、柔道用具を送付します。現在、パレスチナ、ホンジュラス、ウルグアイ、タンザニア、パラオ等へリサイクル柔道衣を発送しています。

Donations of Judo equipment in cooperation with the department of Foreign Affairs, The National Judo Federation and the SFT program. Recycled Judo-gi is currently being sent to countries such as Palestine, Honduras, Uruguay and Tanzania.

外国への指導者派遣事業



2016年7月～8月、一般指導者をデンマーク国際体育学校へ派遣しました。

July to August 2016 General instructors visited the International School of Sport in Slagelse, Denmark.



2016年8月～9月、一般指導者及び学生ボランティアを中国青島・南京・北京に派遣しました。

August to September 2016 general instructors and volunteer students visited Qingdao, Nanjing and Beijing in China.

外国への指導者派遣事業



2016年8月～9月、アメリカ・ウェストポイント陸軍士官学校及びアナポリス海軍士官学校へ一般指導者を派遣します。

August to September 2016 general instructors will visit Westpoint Military Academy and the Annapolis Naval Academy in America.



柔道教室(国内外)を支援

望星学塾主催の国際親善週間(2016年7月～8月)及び塾友杯(12月)支援、ロシアでの「山下泰裕杯」の準備視察(8月)、中郡大会共催(12月)等を行います。

Preliminary inspection for the Yasuhiro Yamashita Cup in Russia. Support for Bosei Gaku Juku's International Friendship Week and Jukuyuhai. Co-hosting of the Nakagun Championships.

講演会の開催



2017年1月、設立10周年を記念し、「10周年記念講演会」を開催します。

In January 2017 a lecture will be held to commemorate 10 years since the foundation of our organization.

柔道体験教室を開催



2016年7月及び12月、留学生を対象とした柔道体験教室を開催します。

In July and December 2016 a trial judo class will be held for exchange students.



サイモン・ヤコブ
Simon Yacoub
パレスチナ -60kg



ディジュ・オタンス
Diedhiou Hortense
セネガル -57kg



ヤン・ナイ・ソウ
Yan Naing Soe
ミャンマー -100kg



ガンバータル・オドバヤル
Odbayar Ganbaatar
モンゴル -73kg



モゴパ・ガビン
Mogopa Gavin
ボツワナ -60kg



シティセイン・スークファサイ
Sithisane Soukphaxay
ラオス -60kg

リオデジネイロオリンピックに
本法人研修生が出場しました！

Trainees from our organization took part in the Rio de Janeiro Olympics!!

2016年8月6日～12日に行われた、リオデジャネイロオリンピックに、本法人元研修生のパレスチナのサイモン選手、セネガルのディジュ選手、モンゴルのガンバータル選手、ミャンマーのヤン選手、本法人が強化支援したボツワナのモゴパ選手、ラオスのシティセイン選手が出場しました。

ガンバータル選手、ヤン選手がオリンピックで1勝を挙げました。皆さん、オリンピック出場という貴重な経験を今後生かしていくことでしょう。今後も彼らの支援を続けていきます。

2015年度 寄付・団体会員一覧 — Supporters —



公益財団法人 竜の子財団



東海大学



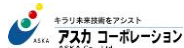
TOYOTA



HANEDA TURTLE SERVICE



uSP 内海晴和企画株式会社

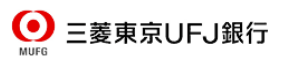


TOSHIBA

KOMATSU



MS&AD
三井住友海上



三井物産(株)、(公財)竜の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、日本たばこ産業(株)、トヨタ自動車(株)、羽田タートルサービス(株)、サポートセンター(株)、内海晴和企画(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、アスカコーポレーション(株)、(一社)東京倶楽部、(公財)東京コミュニティー財団・ファンドクリエーション基金、(株)わくわくコーポレーション、早川繊維工業(株)、(株)豆蔵ホールディングス、(株)神田製作所、(株)東芝、(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行

(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、石井化成工業(株)、植木会計事務所、大峰堂薬品工業(株)、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、神奈川県柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、菅公学生服(株)、九州医療スポーツ専門学校、共和電子(株)、(学)近畿医療学園、京王電鉄(株)、(株)廣洋、COMMONWEALTH JUDO ASSOCIATION、相模トラリアム(株)、(株)三技協、(株)サンレー、(株)シー・ビー・オー設計、(株)鈴鹿蒲鉾本店、(株)成通、(株)ゼネラル、総合警備保障(株)、セレミアホールディングス(株)、大成建設(株)、(株)ダイナミックスパースズ東京、(株)築地すし好、東海ウイング(株)、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学付属相模高等学校、東海大学女子柔道部、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、農業生産法人(有)十津川農場、(一社)日中柔道文化研究会、(公社)日本柔道整復師会、(株)日本成婚ネット、(特非)日本儀礼文化協会、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、ヒューマンズ・ネット(株)、(株)富士サービス、富士ゼロックス神奈川(株)、北京豊台区悟之道体育倶楽部、(株)ホームインブルームメントひろせ、(株)マツヒロ、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、柳田国際法律事務所、(株)山口工務店、(株)ランクアップ平野屋、(一財)良知活動振興財団、(学)了徳学園、(学)了徳大学、横浜市柔道協会、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)わかば、(株)わくわくコーポレーション

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

	個人	団体
正会員	260	52
寄付	35	32
アドバイザー	37	

量支援：東海大学柔道部、東海大学付属仰星高等学校柔道部、東京柔道整復専門学校

(50音順)

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月より神奈川県認定を受けております。本法人への寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。本法人の活動は、皆さまからの寄付、ご支援によって運営されています。趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

■ 郵便振替

口座記号番号: 00200-7-37175 加入者名: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込

三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ